



東海大学（湘南キャンパス） ～聴覚障害学生とノートテイカーのニーズ調査～



東海大学湘南キャンパスで行っている聴覚障害学生への主な情報保障の方法

1. 学生ノートテイカーまたは神奈川県要約筆記者によるパソコンテイク（captiOnlineを使用）
2. UDトークとAmiVoiceの使用
3. 補聴援助システムロジャーの使用

★東海大学湘南キャンパス ノートテイクの現状

- ノートテイクでの情報保障を必要としている聴覚障害学生は12名（2024年度）
- 登録している学生テイカーは88名（2024年4月現在）
- 2024年春学期、実際にノートテイクの活動をした学生は35名

※そのうち学生テイカーと神奈川県要約筆記者を含む20名にアンケート調査を実施

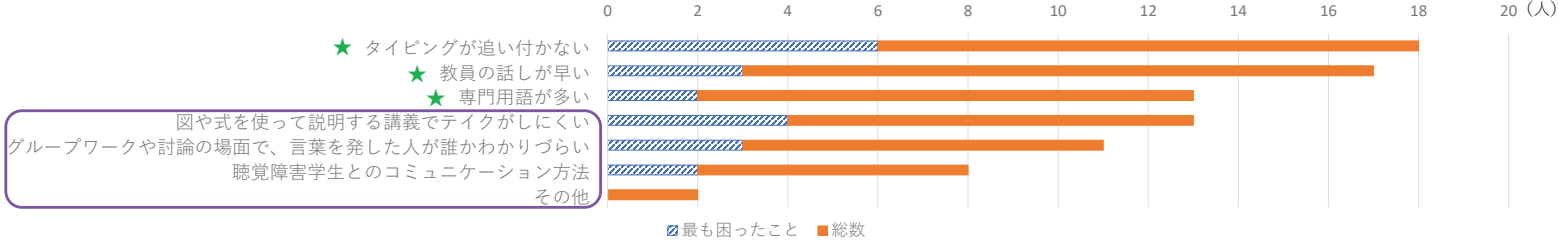


図1. ノートテイカーが困ったこと

【★テイカーの困りごとTOP3】

1. タイピングが追い付かない
2. 教員の話しが速い
3. 専門用語が多い（自分の学部ではないため）

学期中（全14回）の授業 は同じ人がテイク担当！

- 担当授業のガイダンスからテイクするため、その授業の導入や基礎から理解してテイクがしやすくなる！
- 教員とのコミュニケーションも取りやすくなる！

ほぼ全員が 卒業するまでテイカーを続けたいと回答

誰かの役に立てることにやりがいや誇り！
タイピング技術、要約技術が向上した！
聴覚障害学生と仲良くなれた！ 手話を知ることができた！
自分の知識が増えた！ 他学部の授業が受けられる！
テイカー仲間ができた！

【今後の課題】

- グループワークや討論など**発言者が複数**いる場面での情報保障
- 実技など**即時性**を求められる場面での情報保障
- **図や式**を使った授業での情報保障（主に理系）
- ノートテイカーと聴覚障害学生の**コミュニケーション方法**
- **手話通訳**に対する学生のニーズ

- **グループワークやディスカッション、実技**の授業ではノートテイクに限界を感じる
- **手話通訳**が欲しい

- 現在の情報保障に**満足**してる
- **十分すぎる支援**を受けられている

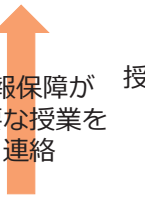


ノートテイカー



テイカーを募集 ↑ 担当できる授業を連絡 ↓

インクルージョン推進室
要約筆記サークル



聴覚障害学生

情報保障が必要な授業を連絡 ↑ 授業のテイカーが決定支援へ！ ↓